

平成22年9月1日招集

茂原市議会定例会会議録（第1号）

議事日程（第1号）

平成22年9月1日（水）午前10時00分開会

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 認定案第1号から第9号並びに
議案第1号から第2号までの上程説明

第4 陳情の上程後委員会付託

第5 休会の件

茂原市議会定例会会議録（第1号）

平成22年9月1日（水）午前10時00分 開会

○議長（常泉健一君） おはようございます。ただいまから平成22年茂原市議会第3回定例会を開会します。

現在の出席議員は26名であります。したがって、定足数に達し会議は成立しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

午前10時00分 開議

○議長（常泉健一君） 直ちに本日の会議を開きます。

————— ☆ ————— ☆ —————

議会運営委員会委員長の報告

○議長（常泉健一君） 最初に、今定例会の運営につき、閉会中に議会運営委員会を開会し、種々協議を行いましたので、その内容について議会運営委員会委員長から報告を求めます。

議会運営委員会委員長 伊藤すすむ君。

（議会運営委員会委員長 伊藤すすむ君登壇）

○議会運営委員会委員長（伊藤すすむ君） おはようございます。議会運営委員会の報告を申し上げます。

本委員会は、去る8月7日に招集告示されました平成22年第3回定例会の運営につき、8月2日及び8月30日に委員会を開き、種々協議いたしましたので、その内容について報告いたし、皆様方の御協力をお願いするものでございます。

最初に、本定例会の日程について申し上げます。お手元の日程表をごらんいただきたいと存じます。

まず、会期については、市長提出の認定案9件、議案2件並びに一般質問通告者7人を勘案し、本日から15日までの15日間とすることといたします。

本日は、会議録署名議員の指名、会期の決定、市長提出議案の上程説明、陳情の上程後委員会付託並びに休会の件を議題といたします。

2日から7日までは、議案等調査のため休会、一般質問は8日に4人、9日に3人行います。

なお、一般質問者の順位は、くじにより配付資料のとおり決定しましたので、御了承願いたいと存じます。

10日は、議案質疑後委員会付託を行い、本会議終了後、各常任委員会の審査をお願いしたい

と思います。

また、認定案第1号、平成21年度茂原市一般会計歳入歳出決算の審査については、従来どおり決算審査特別委員会を設置し、同委員会に付託の上、閉会中の継続審査とすることといたしました。委員会の構成については8人とし、委員の選任は、茂原市議会委員会条例第8条第1項の規定により議長の指名とします。

さらに、認定案第2号から第9号までの特別会計決算についても、所管委員会に付託の上、閉会中の継続審査といたします。

11日から14日までは、報告書作成のため休会といたします。

最終日15日は、本会議に先立ちまして、午前11時30分から常任委員会の委員長報告の調整を行っていただき、午後1時から本会議を開き、議案等に対する総括審議を行うことといたします。

以上が、今定例会の運営に関する協議決定事項であります。運営上新たな問題が生じた際は、議会運営委員会において協議の上、処理していくことといたしました。

議員皆様方の御理解、御協力を重ねてお願い申し上げまして、報告を終わります。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 以上で議会運営委員会委員長の報告を終わります。

————— ☆ ————— ☆ —————

諸 般 の 報 告

○議長（常泉健一君） 次に、諸般の報告をします。

報告の内容は、閉会中における議長の諸報告、公務報告、平成22年第2回定例会会議録についてであります。いずれもお手元に配付してあるとおりであります。

次に、本日招集された9月定例会の議案等説明のため、市長並びに関係行政機関に出席を求めたところ、お手元に配付してあるとおり出席報告がありました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 事 日 程

○議長（常泉健一君） 本日の議事日程は、既にお手元に配付してありますので、それにより御了承願います。

————— ☆ ————— ☆ —————

会議録署名議員の指名

○議長（常泉健一君） それでは、これより議事日程に基づき議事に入ります。

議事日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

本件については、会議規則第81条の規定により、議長から指名します。

会議録署名議員に

24番 市原健二君

25番 田辺正和君

の2名を指名します。

————— ☆ ————— ☆ —————

会 期 の 決 定

○議長（常泉健一君） 次に、議事日程第2「会期の決定」を議題とします。

お諮りします。今定例会の会期は、議会運営委員会の協議に基づき、本日から15日までの15日間としたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（常泉健一君） 御異議ないものと認めます。したがいまして、会期は本日から15日までの15日間とすることと決定しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 長 の 報 告

○議長（常泉健一君） ここで報告します。本日、市長から今定例会に提出するための議案の送付があり、これを受取りお手元に配付しました。

また、あわせて地方自治法第233条第5項の規定により、平成21年度決算に係る主要な施策の成果を説明する書類、並びに地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、平成21年度決算の健全化判断比率及び資金不足比率についての書類が提出されました。

————— ☆ ————— ☆ —————

認定案第1号から第9号並びに議案第1号から第2号までの上程説明

○議長（常泉健一君） 次に、議事日程第3「認定案第1号から第9号並びに議案第1号から第2号までの上程説明」を議題といたします。

議案の上程については、認定案9件、議案2件を一括上程いたします。

市長から提案理由の説明を求めます。市長 田中豊彦君。

（市長 田中豊彦君登壇）

○市長（田中豊彦君） おはようございます。本日から、平成22年第3回定例会を開催いたす

こととなりました。議員各位におかれましては、大変御多忙のところ、まことに御苦労さまでございます。

議案の説明に入ります前に、諸般の報告を申し上げます。

過日行われました第22回参議院議員通常選挙においては、政権与党が改選議席を下回り、国民から厳しい審判が下された結果となりました。衆・参両院で与党・野党がそれぞれ過半数を占める、いわゆる「ねじれ国会」の状態となっており、今後の政権運営を大変厳しいものになるのではないかとされており、

私といたしましても、真の地方分権への歩みが滞ることのないよう、国の動向を注視するとともに、県をはじめ関係機関との連携に努めてまいり所存でございます。

さて、内閣府の月例経済報告によりますと、景気は着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤は整いつつあるものの、急激な円高・株安が進み、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況にあります。

一方、千葉県内においては、雇用情勢等に厳しい状況が残る中、このところ個人消費や製造業の生産などに緩やかな持ち直しの動きが進展しております。

政府は「新成長戦略」に基づきまして、日本経済を本格的な回復軌道に乗せるとともに、デフレを終結させるよう政策運営を行うとしております。また、7月27日に「新成長戦略」の着実な推進を目指し、「平成23年度予算の概算要求組替え基準について」が閣議決定されました。

海外経済の改善や緊急経済対策をはじめとする政策効果を背景に企業収益の改善が続く中で、景気が自律的な回復に向かうことが期待されますが、一方で、諸外国に比べ高い法人税や製造業への派遣禁止などに今回の急激な円高が加わり、国内製造業の空洞化による雇用情勢の悪化懸念が依然残っており、景気を下押しするリスクが存在することから、私といたしましても、本市経済への影響について注意深く見守ってまいりたいと考えているところでございます。

それでは、初めに「ゆめ半島千葉国体」について申し上げます。

昭和48年の「若潮国体」以来、37年ぶりとなる「ゆめ半島千葉国体」の総合開会式が、いよいよ今月の25日に迫ってまいりました。

茂原七夕まつりで採火された「千葉国体 七夕まつりは 茂原の火」は、8月31日、昨日の千葉県選手団結団式の際にそれぞれの開催市町村で採火された火とあわせまして「千葉県の火」となり、千葉マリスタジアムで行われる総合開会式で点火される予定となっております。

本市では10月1日から4日まで、市民体育館において成年女子6人制・成年男子9人制のバレーボールが、9月26日に茂原公園においてデモスポ行事のウォークラリーがそれぞれ開催さ

れますので、市民を挙げて国体開催を盛り上げまして、地域の活性化を図るとともに、全国から本市を訪れる皆様を心のこもったおもてなしでお迎えしたいと考えております。

次に、新型インフルエンザの対応について申し上げます。

昨年4月にアメリカ・メキシコを中心としました北米に端を発した「新型インフルエンザ」は、世界的に感染が拡大し、WHOはこれまで最高度の警戒水準であるフェーズ6を維持してきましたが、8月10日に世界的大流行が終息したとする声明が発表されました。その一方、今回の新型インフルエンザは、今後長年にわたり季節性インフルエンザとして感染を引き起こす恐れがあるとして、引き続き警戒が呼びかけられております。

こうした中、本年度のインフルエンザワクチン接種事業は、現在国が事業主体となって実施している「新型インフルエンザワクチン接種事業」が本年9月末で終了いたし、10月1日以降は新臨時接種を前提とした新たなワクチンの接種事業として開始することとしております。

具体的には、原則として昨年流行した新型インフルエンザワクチンと季節性のA香港型、B型の3種を組み合わせた混合ワクチンを10月から全市民が接種できるよう、市として準備を進めているところでございます。

次に、学校施設の整備について申し上げます。

現在、富士見中学校と豊岡小学校に太陽光発電設備の設置を行っており、年間の電気使用量の15%から30%を賄うことができると考えております。

また、各小学校のトイレにつきましては、学校や保護者からの御要望もあり、洋式便器への改修を進めております。本年度は交付金を活用しまして、主に低学年が使用するトイレについて、1校につき二、三カ所の増設工事を行っております。

次に、小中学校教育用パソコン等整備事業について申し上げます。

文部科学省が推進する学校情報通信環境整備事業により、各小中学校パソコン教室、特別教室、普通教室に設置されている教育用パソコン及び事務用パソコンについて、本年9月末をもってリース期間が満了するため、リース更新により整備を行います。

これにより、児童生徒の情報活用能力の育成、情報モラル教育の充実、指導面におけるコンピュータ等情報手段の適切な活用がより促進されるほか、事務負担の軽減が図られると思っております。

次に、国際交流について申し上げます。

姉妹都市ソルズベリー市より市長をはじめとする訪問団17名を茂原七夕まつりに合わせてお迎えいたしました。オールドリッジ・ソルズベリー市長は本市への訪問が初めてということで、

七夕まつりの多くの行事に参加され、まつりを国際色豊かに盛り上げていただきました。

訪問初日に行われた歓迎会には、議員各位をはじめ、商工会議所及び国際交流の関係者や市民の方々にも多数御参加いただき、訪問団一行を盛大におもてなしすることができました。

滞在中は企業訪問を通じまして本市の産業について理解を深めていただいたほか、茂原市文化国際交流振興会の御協力により、日本舞踊、生け花、茶道、居合などの日本伝統文化を紹介いたしました。ソルズベリー市の皆様が日本の産業や伝統文化に大変興味を持っている様子が拝見できました。

今回の訪問団受け入れにつきましては、今後の姉妹都市交流の推進と継続、また両市の友好関係の強化に大きな役割を果たしたものと考えております。

次に、ひとり親家庭の支援について、主に母子家庭を対象に支給されておりました児童扶養手当につきましては、本年8月から父子家庭についても支給されることになりました。11月30日までに申請いただければ、8月にさかのぼって支給されますので、広報紙等を活用し、周知に努めてまいりたいと思っております。

次に、女性特有の子宮頸がん及び乳がんの検診につきましては、昨年を引き続きまして、10月から対象者に無料クーポン券を発送するとともに、市内の医療機関でも個別に受診できるように準備を進めております。

次に、ごみ減量化の状況について申し上げます。

平成18年1月1日から可燃ごみ収集の有料一元化を実施してまいりましたが、これ以降、可燃ごみの量は年々減少しております。平成17年度と比較しますと、平成21年度の実績では、事業所等の可燃ごみを含めた量では13%の減となっており、一般家庭から排出される可燃ごみに限れば19.9%の減となっております。

これは分別排出の徹底や生ごみの堆肥化など、市民の皆様の努力の結果と考えております。

なお、長生郡市全体で見ますと、事業所等の可燃ごみを含めた量では11.2%の減となっております。今後ごみの発生抑制、分別排出、リサイクルの推進に努めてまいりたいと思っております。

次に、防災について申し上げます。

本年は九州・中国地方において梅雨末期の大雨による甚大な被害が発生いたしました。本市では幸い直接的な被害はありませんでした。しかし、災害に対しては日ごろからの心構えが重要であり、被害発生を事前に防止し、また最小限に食い止めるためには、市民及び防災関係機関相互の密接な連携による迅速かつ円滑な対応が必要となります。

このような認識のもと実施しております地域防災訓練は、本年度で31回目を迎えまして、8月28日の土曜日、新治小学校を会場として実施いたしました。当日は茂原警察署などの防災関係機関及び電気・ガスなどのライフライン関係機関、また地元自治会、小学校等の関係者など、多数の御参加をいただき、大変熱心に取り組んでいただきました。心より感謝を申し上げるとともに、今後とも災害に強いまちづくりに努力してまいります。

次に、圏央道についてでございますが、東金・茂原間につきましては、国土交通省より本市を含む関係市町に事業認定に関する公告・縦覧の通知があり、6月21日から7月5日までの2週間、公告・縦覧を実施いたしました。利害関係人から異議がありませんでした。したがって、事業者としては、任意交渉とともに法的措置に向けて一歩踏み出したこととなりますが、この状況を受け、6月末で残り20件であったものが7月末で残り11件、用地取得率で約99.7%となり、難航していた用地の多くが解決に向かってまいりました。

茂原・木更津間につきましても、市原市山口周辺の用地について、8月上旬、千葉県収用委員会で採決に向け審理が開始され、8月23日には結審されたとの新聞報道がありました。今後とも、土地収用手続きが着実に進められるものと考えております。

しかし、7月末に発表されました平成23年度の国の概算要求基準において、各省庁一律10%カットという報道がされました。私といたしましては、圏央道の東金・木更津間について、平成24年度の開通目標に影響が出ることはないよう、予算の確保のため要望などを行ってまいりたいと考えております。

また、8月28日には、市民室で「圏央道の中房総地域の発展につなぐためのフォーラム」が開催され、私もパネリストとして参加いたしました。圏央道もあと2年数か月で開通されるという状況の中で、これを機に企業立地や地域産業の活性化を図り、個性と自立性のあるまちづくりを進めてまいり所存でございます。

次に、戸別所得補償制度モデル対策について申し上げます。

本年4月1日より、国の食料自給率の向上とともに、水田農業が継続できる環境を整えることを目的として、「戸別所得補償制度モデル対策」がスタートいたしました。

米の生産数量目標に即した生産を行った農家に対して交付金を交付する「米戸別所得補償モデル事業」と、水田で作付された麦・大豆・新規需要米等を生産・販売した農家に対して交付金を交付する「水田利活用自給力向上事業」の申し込みが6月30日まで行われました。市内の農業者に対してこの制度の主旨を説明し、加入の推進を図ったところ、52名の生産者に御加入をいただいたところでございます。

次に、ひめはるの里について申し上げます。

昨年4月、株式会社ニチイグリーンフォームに貸し付けいたしました「ひめはるの里」につきましては、園内施設の整備が終わりまして、7月29日にプレオープンいたしました。8月15日現在で5000名余りの入園者を迎えており、1日平均の来場者数は約300名とのことでございます。

次に、茂原七夕まつりについて申し上げます。

第56回茂原七夕まつりは、「天の川 未来にかける 夢まつり」のメインテーマのもと、7月23日から25日までの3日間にわたって開催され、猛暑の中、県内外から85万人もの観光客にお越しいただきました。

今回は、お招きした姉妹都市ソルズベリー市の訪問団の皆様には各種行事へ御参加いただいたほか、新たな取り組みとして「写真コンテスト」を実施いたしました。県内外から多くの写真愛好家の方々にお越しいただき、数々の名シーンをカメラにおさめていただきました。

また、七夕装飾につきましては、市内7中学校及び長生高校による飾りを駅前に設置したほか、保育所や企業等からも御協力をいただきまして、商店会等による約350本の情緒豊かな竹飾りが多くの方の目を楽しませておりました。

イベント関係につきましては、フェスタ21会場がゆめ半島千葉国体の採火式など、オープニングセレモニーからフィナーレまで盛りだくさんの催しで賑わったほか、市内企業等10団体が参加した「もばら阿波おどり」、ことしで10回目を迎え、15団体・約700人が参加した「ちばYOSAKOI・夏の陣2010」については、踊り手と観客が一体感に包まれ、夢と希望と感動を分かち合うすばらしい機会となりました。

茂原七夕まつりに御協力いただきました警察、消防関係者、市内企業の皆様方、また盛り上げていただきました市民の皆様には、心より感謝を申し上げる次第であります。来年も「見て楽しく、参加して楽しい」市民挙げての七夕まつりにするよう、引き続き努力してまいります。

次に、パブリックコメント手続制度について申し上げます。

市の政策形成過程における公正性、透明性の向上を図り、市民の市政への参画と開かれた市政への推進に資することを目的として、「茂原市パブリックコメント手続に関する要綱」を制定し、平成22年7月1日から施行いたしました。

今後は、市の基本的政策等の策定に際して、必要事項を市民の皆様にご公表し、多様な意見をお聞きした上で、市の意思決定や政策形成に繁栄してまいります。

なお、7月5日から8月6日まで「(仮称)第2次茂原市男女共同参画計画」についてパブ

リックコメントを募集したところ、御意見はございませんでした。また、8月23日から9月24日まで、「茂原市総合計画後期基本計画」についてのパブリックコメントを募集しており、いただいた御意見、御提言については11月を目途に公表する予定でございます。

次に、「市民ふれあいミーティング」について申し上げます。

今回、新たな広聴活動の取り組みとして、従来の「市長と話し合う会」に加えまして、私が市民の皆様と直接対談形式により話し合いを行う「市民ふれあいミーティング」を8月27日に試行的に実施いたしました。初めての試みであり、参加者は6名と少数ではありましたが、市政に対する皆様方の有益なお考えをお聞きすることができました。今後も市政に対する市民の声を広くお聞きする「市民ふれあいミーティング」を実施してまいりたいと考えております。

さて、本定例会に御提案申し上げます案件は、認定案9件、補正予算1件、人事案件1件の合計11件でございます。

まず、認定案第1号から認定案第9号までは、平成21年度の一般会計及び各特別会計の決算の認定でございます。

一般会計につきましては、歳入総額は279億4209万1352円、歳出総額は272億9350万537円となり、翌年度に繰り越すべき財源等を差し引いた実質収支は3億5832万4404円の黒字決算となりました。また、特別会計につきましても順調な決算をすることができました。

これもひとえに議員各位はもとより、市民の皆様方の温かい御支援、御協力の賜物と深く感謝を申し上げる次第であります。

次に、議案第1号の「平成22年度茂原市一般会計補正予算（第2号）」について申し上げます。

本案は、歳入歳出それぞれに9596万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額を249億4577万2000円にしようとするものでございます。

次に、議案第2号「教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」御説明申し上げます。

本案は、現委員の千葉彌幸氏の任期が本年9月30日をもって満了となることから、後任として新たに齋藤 晟氏を委員に任命することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求めようとするものでございます。

以上が、今議会に提案しております11案件の概要でございます。詳細につきましては、それぞれ担当部長から説明させていただきますので、よろしく御審議を賜り、御可決くださいますようお願い申し上げます。

以上でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

○議長（常泉健一君） 企画財政部長 平野貞夫君。

（企画財政部長 平野貞夫君登壇）

○企画財政部長（平野貞夫君） 企画財政部所管にかかわります認定案第1号及び議案第1号につきまして御説明申し上げます。

まず、認定案第1号「平成21年度茂原市一般会計歳入歳出決算」について申し上げます。

歳入総額は279億4209万1352円、対します歳出総額は272億9350万537円で、歳入歳出差引額は6億4859万815円の黒字決算となりました。

これに繰越明許費及び継続費に伴います翌年度へ繰り越すべき財源2億9026万6411円を差し引いた実質収支につきましても、3億5832万4404円の黒字決算となりました。

また、決算規模を前年度と比較いたしますと、歳入におきましては、景気の悪化や評価替え等による市税の減や土地開発公社に対する貸付金元金の返済額の減等による諸収入の減などがありました。地方交付税の増や地域活性化経済危機対策臨時交付金、定額給付金給付事業費補助金等の国庫支出金の増などによりまして、15億732万9258円、5.7%の増となりました。

一方、歳出におきましては、土地開発公社貸付金に係る地方債の繰上償還による公債費の減などがありました。生活保護扶助費の扶助費の増や定額給付金給付費、学校給食公社補助金等による補助費等の増、さらには減債基金等積立金の増などによりまして、13億3431万2389円、5.1%の増となりました。

次に、歳出の概要につきまして申し上げます。詳細はお手元に配付してございます「主要施策の成果」により御報告させていただきますので、あらかじめ御了解願います。

まず、教育文化でございますが、教育環境の整備といたしましては、豊田小学校の屋内運動場屋根改修工事等による小学校補修工事で6670万円余を、地域活性化・経済危機対策臨時交付金などを活用しての校務用パソコン、地上デジタルテレビの購入等による小中学校管理運営費で8440万円余を、萩原小学校普通教室棟改築工事の耐震化事業等に係る小学校施設整備事業で1億6829万円余を、東中学校屋内運動場外2校の耐震化事業に係る中学校施設整備事業で9億8915万円余を、スポーツ環境の充実といたしましては、市民体育館の補修事業で1302万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、健康福祉でございますが、地域福祉の充実といたしましては、高齢者、障害者等の利便を図るため、JR茂原駅の下りホームに続き上りホームへのエレベーター設置事業補助金で1500万円余を、児童福祉の充実といたしましては、放課後児童健全育成事業で3785万円余を、

児童手当支給事業で6億326万円余を、障害者福祉の充実といたしましては、介護給付事業で5億53万円余を、重度心身障害者（児）医療費助成事業で1億4154万円余を、ひとり親家庭福祉の充実といたしましては、児童扶養手当支給事業で3億1967万円余を、低所得者福祉の推進といたしましては、514保護世帯への生活保護扶助費で11億9264万円余を、健康診査の充実といたしましては、メタボリックシンドロームの予防等を目的とした健康診査事業で7414万円余を、母子保健の充実といたしましては、乳幼児医療対策事業で1億1569万円余を、老人医療の充実といたしましては、後期高齢者医療事業で5億1835万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、生活環境でございますが、生活道路の整備といたしましては、33カ所の道路補修工事等で6338万円余を、6路線の道路改良事業で8161万円余を、公園の整備といたしましては、長生の森公園整備事業で2166万円余を、住宅環境の整備促進といたしましては、真名住宅4階建て手すり交換工事等の市営住宅管理事業で3766万円余を、交通安全対策の推進といたしましては、交通安全施設整備事業で1636万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、都市基盤でございますが、秩序ある市街地整備の推進といたしましては、債務負担行為の償還を除き、茂原駅前通り地区土地区画整理事業で8535万円余を、道路網の整備といたしましては、債務負担行為の償還を除き、街路事業費で4987万円余を、バス輸送の整備といたしましては、市民バス運行事業で1711万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、産業振興でございますが、生産基盤の整備といたしましては、新川地区の県営かんがい排水事業で4031万円余を、新たな企業・産業の導入といたしましては、企業立地促進事業で3億19万円余を、経営の近代化促進といたしましては、中小企業資金融資事業で5億7343万円余を、また、定額給付金給付事業で14億5294円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、市民自治でございますが、広報活動の充実といたしましては、広報発行事業で1645万円余を執行いたしました。

最後に、茂原市土地開発公社経営健全化計画及び債務負担行為償還計画Ⅲに基づく債務負担行為の解消といたしましては、街路事業費で2億6450万円余を、茂原公園駐車場整備事業で3億8659万円余を、茂原駅前通り地区土地区画整理事業で3424万円余をそれぞれ執行いたしました。

以上、概要について申し上げますが、本案につきましては、監査委員の意見書を付してございます。決算審査の過程におきましても御意見、御指導いただいておりますので、今後ともそれらに十分留意いたしまして、市民福祉の向上に一層の努力をまいります。

次に、財政健全化法の健全化判断比率及び資金不足比率につきまして御説明申し上げます。

まず、健全化判断比率につきましては、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は黒字のため該当がありませんでした。実質公債費比率は17.7%で、早期健全化基準の25%を下回りました。また、起債の許可基準の18%を下回るため、今年度は平成18年度に地方債協議制度へ移行して以来、初めて起債の協議団体となります。将来負担比率は206.7%で、早期健全化基準350%を下回りました。

資金不足比率につきましては、下水道事業会計、農業集落排水事業会計、宅地開発事業会計のいずれも黒字のため該当がありませんでした。

続きまして、議案第1号「平成22年度茂原市一般会計補正予算（第2号）」について御説明申し上げます。

本案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9596万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ249億4577万2000円にしようとするものであります。

その概要を歳出より申し上げます。

2款総務費、2項徴税費、2目賦課徴収費の個人市民税賦課事務費は、国税連携に伴う電算システム構築のための電算委託料に238万8000円を、固定資産税等賦課事務費は航空写真撮影及び地番図データ異動更新業務委託料に798万円をそれぞれ追加するものでございます。

5款農林水産業費、1項農業費、5目土地改良事業費のほ場整備事業は、吉井土地改良区への千葉県農山漁村地域活性化事業補助金に754万円を、湛水防除事業は、渋谷地区の排水路護岸工事に伴う県事業負担金として1220万円を、緊急雇用創出事業によるため池台帳整備事業は、ため池台帳整備委託料に599万6000円をそれぞれ追加するものでございます。

7款土木費、1項道路橋梁費、2目道路維持費の道路橋梁維持補修費は、箕輪及び八幡原地先の道路補修工事等に1829万3000円を追加するものでございます。

3目道路新設改良費の道路改良事業は、北塚地先の道路用地購入費等に266万円を、道路舗装新設事業は、上茂原外2カ所の新設工事等に350万円をそれぞれ追加するものでございます。

3項都市計画費、3目公園費の長生の森公園整備事業は、県事業負担金として2908万5000円を追加するものでございます。

9款教育費、2項小学校費、1目学校管理費の緊急雇用創出事業は、学校図書館支援員活用事業に92万1000円を追加するものでございます。

次に、歳入について申し上げます。

15款県支出金は、千葉県農山漁村地域活性化事業補助金、千葉県緊急雇用創出事業補助金の増等により、1489万7000円を追加するものでございます。

19款繰越金は、4297万円を追加するものでございます。

21款市債は、県営湛水防除事業、長生の森公園負担金の増等により、3810万円を追加するものでございます。

第2表地方債補正でございますが、農業生産基盤整備事業、道路整備事業、内排水対策関連施設整備事業、長生の森公園整備事業のそれぞれの限度額を変更するものでございます。

以上、認定案1件、議案第1号につきまして御説明させていただきました。よろしく御審議の上、御承認並びに御可決くださいますようお願い申し上げます。

○議長（常泉健一君） 市民部長 中山 茂君。

（市民部長 中山 茂君登壇）

○市民部長（中山 茂君） 市民部所管にかかわります認定案第2号、第5号及び第9号について御説明申し上げます。

まず、認定案第2号「平成21年度茂原市特別会計国民健康保険事業費歳入歳出決算」について御説明申し上げます。

本案は、歳入総額98億6963万8825円に対しまして、歳出総額93億3619万1913円で、歳入歳出差引5億3344万6912円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容から御説明申し上げます。

1款の国民健康保険税は、収入済額は30億3172万168円で、対前年度比2440万2637円、0.8%の減となりました。

現年度分の収納率につきましては、一般と退職をあわせまして83.10%で、対前年比0.51ポイントの減となりました。

3款の国庫支出金は、1項国庫負担金として19億6485万3848円が交付されました。前年度比1億8523万9215円、10.4%の増でございます。主なものは、療養給付費等負担金でございまして、これは一般被保険者の医療費、後期高齢者医療費支援金及び介護納付金に対する国庫負担分でございます。

また、2項国庫補助金として、各保険者間の国保の財政力に対する財政調整交付金4億5685万1000円、出産育児一時金の増額に対する出産育児一時金補助金120万円など、合わせて4億5874万3284円でございます。

4款の療養給付費等交付金は、3億7473万8022円が交付されました。これは、退職被保険者の療養給付費に対する社会保険診療報酬支払基金の交付金でございます。

5款の前期高齢者交付金は、17億1908万5148円が交付されました。これは65歳から74歳まで

の被保険者の医療費に対する社会保険診療報酬支払基金の交付金でございます。

6 款の県支出金は、1 項県負担金及び2 項県補助金として4 億118 万7532 円が交付されました。主なものは、高額医療費共同事業負担金、特定健康診査等負担金及び財政調整交付金でございます。

9 款繰入金は、一般会計繰入金1 億4730 万5721 円、保険基盤安定繰入金2 億3730 万8279 円で、合わせて3 億8461 万4000 円でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款総務費は、支出済額1 億6371 万290 円で、一般職人件費及び保険税賦課徴収事務費が主なものでございます。

2 款保険給付費は、支出済額が62 億4401 万1782 円で、対前年度比2 億6789 万6760 円、4.48% の増となりました。

3 款後期高齢者支援金等は、支出済額12 億7740 万6990 円で、後期高齢者医療制度の安定的運営のため、社会保険診療報酬支払基金へ拠出するものでございます。

4 款前期高齢者納付金等は、支出済額363 万2171 円で、前期高齢者の医療費を全保険者間で負担調整した際の納付金で、社会保険診療報酬支払基金へ納付するものでございます。

6 款介護納付金は、支出済額4 億9706 万1909 円で、40 歳から64 歳までの第2 号被保険者に係る介護保険給付に対する負担金でございます。

8 款保健事業費は、支出済額8009 万8606 円で、対前年度比1179 万2034 円の増となりました。主なものは、特定健康診査に要する費用と人間ドック助成事業等に要する費用でございます。

以上が「平成21 年度茂原市特別会計国民健康保険事業費歳入歳出決算」の概要でございます。我が国の医療保険制度のうち、国民健康保険は高齢者や所得の少ない方が被保険者の多くを占めており、また、長引き景気の低迷により厳しい事業運営を余儀なくされているのが実情であります。今後ともより一層、国の動向に注視するとともに、医療費の適正化を図るよう、事業の健全な運営に努めてまいりたいと考えております。

続きまして、認定案第5 号「平成21 年度茂原市特別会計老人保健費歳入歳出決算」について御説明申し上げます。

歳入総額3968 万1575 円に対しまして、歳出総額773 万2649 円で、歳入歳出差引は3194 万8926 円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容から御説明申し上げます。

1 款支払基金交付金は、社会保険診療報酬支払基金からの交付金で、収入済額は105 万円で

ございます。後期高齢者医療制度への移行に伴い、対前年度比 2 億8533万408円の大幅な減で
ございます。

次に、2 款国庫支出金は2348万4834円、3 款県支出金が85万957円で、公費負担の合計額は
2433万5791円となり、対前年度比 1 億5451万9473円の減となりました。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款医療諸費は、支出済額212万8555円で、対前年度比 5 億2722万8611円の減となりました。

2 款諸支出金は、560万4094円で、医療費交付金の平成20年度分精算に伴う償還金でござい
ます。

以上が「平成21年度茂原市特別会計老人保健費歳入歳出決算」の概要でございます。

続きまして、認定案第 9 号「平成21年度茂原市特別会計後期高齢者医療事業費歳入歳出決算
について」御説明申し上げます。

歳入総額 8 億3794万7007円に対しまして、歳出総額 7 億8968万8753円で、歳入歳出差引は
4825万8254円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容から御説明申し上げます。

1 款後期高齢者医療保険料につきましては、収入済額は 5 億2901万3310円でございます。

4 款繰入金につきましては、事務費繰入金8900万3000円、保険基盤安定繰入金 1 億1916万
7200円で、合わせて 2 億817万200円でございます。

6 款諸収入のうち、5 項受託事業収入につきましては、賦課徴収帳票作成等業務委託料とし
て258万7025円の収入でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款総務費は、4403万4889円で、一般職人件費及び後期高齢者医療事務費並びに徴収事務費
が主なものでございます。

2 款後期高齢者医療広域連合納付金は、支出済額 7 億4454万2564円で、千葉県後期高齢者医
療広域連合へ納付するものでございます。

以上が「平成21年度茂原市特別会計後期高齢者医療事業費歳入歳出決算」の概要でございま
す。

以上、市民部所管にかかわります認定案 3 件につきまして御説明させていただきました。よ
ろしく御審議の上、御承認くださいますようお願いを申し上げます。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 都市建設部長 古市賢一君。

（都市建設部長 古市賢一君登壇）

○都市建設部長（古市賢一君） 都市建設部所管にかかわります認定案第3号、第4号及び第7号について御説明申し上げます。

初めに、認定案第3号「平成21年度茂原市特別会計下水道事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入総額20億7599万4087円に対しまして、歳出総額19億6239万5263円で、歳入歳出差引額1億1359万8824円の黒字決算となりました。

これに繰越明許に伴います翌年度へ繰り越すべき財源320万円を差し引いた実質収支につきましても、1億1039万8824円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款分担金及び負担金、収入済額1753万8000円余につきましては、受益者負担金でございます。

2 款使用料及び手数料7億5435万2000円余につきましては、下水道使用料等でございます。

3 款国庫支出金1億7256万5000円につきましては、管渠整備及び処理場改築事業等に係る国庫補助金でございます。

5 款繰入金3億3000万円につきましては、一般会計からの繰り入れでございます。

6 款繰越金5754万9000円余につきましては、平成20年度よりの繰越金でございます。

7 款諸収入825万3000円余につきましては、接続協力金等でございます。

8 款市債7億3570万円につきましては、下水道事業債4億6860万円、高金利対策の借換債2億6710万円でございます。

なお、下水道事業債のうち3億円が資本費平準化債でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款事業費、1 項管理費、1 目一般管理費1億605万9000円余につきましては、下水道使用料の徴収委託料、供用開始区域を中心とした水洗化補助金及び消費税等でございます。

2 目維持管理費3億727万8000円余につきましては、処理場の光熱水費、汚泥等の処分委託料、処理場維持管理業務等委託料及び管渠補修工事等でございます。

2 項工事費3億7069万7000円余につきましては、下水処理場の改築工事のほか、早野第3幹線布設工事として、汚水管541メートルの整備等を行いました。

3 款公債費11億7835万9000円余につきましては、起債の償還元金及び利子でございます。

なお、償還元金のうち2億6719万5000円余が公的資金補償金免除繰上償還分でございます。

以上が、平成21年度茂原市特別会計下水道事業費歳入歳出決算の概要でございます。

次に、認定案第4号「平成21年度茂原市特別会計宅地開発事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入総額1562万5279円に対しまして、歳出総額36万5400円となり、歳入歳出差引額1525万9879円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款繰越金、収入済額1562万5000円余につきましては、平成20年度よりの繰越金でございます。

次に、歳出につきまして御説明申し上げます。

1 款事業費36万5000円余につきましては、西部地区開発事業用地の草刈委託料でございます。

以上が、平成21年度茂原市特別会計宅地開発事業費歳入歳出決算の概要でございます。

次に、認定案第7号「平成21年度茂原市特別会計駐車場事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入総額1億7657万6639円に対しまして、歳出総額1億7513万8978円となり、歳入歳出差引額143万7661円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款事業収入、収入済額4274万1000円余につきましては、駐車場使用料及び駐車場壁面使用料でございます。

2 款繰入金1億2500万円につきましては、一般会計からの繰入金でございます。

3 款繰越金879万4000円余につきましては、平成20年度よりの繰越金でございます。

次に、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款事業費、1 項管理費、1 目一般管理費149万4000円余につきましては、消費税等でございます。

2 目施設管理費4738万1000円余につきましては、駐車場の管理委託料及び用地の借上料等でございます。

2 款公債費1億2626万2000円余につきましては、起債の償還元金及び利子でございます。

以上が、平成21年度茂原市特別会計駐車場事業費歳入歳出決算の概要でございます。

以上、都市建設部所管にかかわります認定案3件について御説明申し上げます。よろしく御審議の上、御承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（常泉健一君） 経済環境部長 前田一郎君。

（経済環境部長 前田一郎君登壇）

○**経済環境部長（前田一郎君）** 経済環境部所管にかかわります認定案第6号「平成21年度茂原市特別会計農業集落排水事業費歳入歳出の決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入総額3億3225万4696円に対しまして、歳出総額3億1797万5053円で、歳入歳出差引額1427万9643円の黒字決算となりました。

その主な概要につきまして、歳入より御説明申し上げます。

1款分担金及び負担金815万8300円でございますが、納入件数18件の受益者分担金でございます。

2款使用料及び手数料1億2084万3307円でございますが、東郷第一地区、豊岡第一地区、豊岡第二地区及び豊岡第三地区の使用料で、納入戸数は2231戸でございます。

4款繰入金でございますが、一般会計より1億5000万円を繰り入れいたしました。

5款繰越金は、823万9865円でございます。

7款市債でございますが、下水道事業債4500万円借り入れいたしました。

次に、歳出について御説明申し上げます。

1款事業費は、9423万8040円でございます。

その主な事業内容といたしまして、1項管理費、1目一般管理費は2750万3066円で、これは事務事業を執行する人件費及び事務費でございます。

2目施設管理費は6673万4974円で、東郷第一地区外3地区の処理施設及び管路施設の維持管理費でございます。

3款公債費2億2373万7013円は、起債の元金及び利子の償還金でございます。

以上が、平成21年度茂原市特別会計農業集落排水事業費歳入歳出決算の概要でございます。よろしく御審議の上、認定くださいますようお願い申し上げます。以上でございます。

○**議長（常泉健一君）** 福祉部長 古山 剛君。

（福祉部長 古山 剛君登壇）

○**福祉部長（古山 剛君）** 福祉部所管にかかわります認定案第8号「平成21年度茂原市特別会計介護保険事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入合計47億5912万7884円に対し、歳出合計は46億2833万8477円で、歳入歳出差引残額1億3078万9407円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1款介護保険料につきましては、収入済額は8億9693万3100円ございまして、徴収率は95.37%となっております。

3 款国庫支出金につきましては、介護保険給付費に対する国の負担金 7 億8205万円、介護保険給付費に対する国の調整交付金 1 億4550万2000円、介護予防事業に係る地域支援事業交付金 1692万2864円、包括的支援事業・任意事業に係る地域支援事業交付金1805万902円を合わせまして、9 億6252万5766円が収入済額となっております。

4 款支払基金交付金につきましては、介護保険給付費に対する社会保険診療報酬支払基金の交付金12億9016万1633円、地域支援事業に対する社会保険診療報酬支払基金の交付金2048万9000万円を合わせまして、13億1065万633円が収入済額でございます。

5 款県支出金につきましては、介護保険給付費に対する県の負担金 6 億3690万円、介護予防事業に係る地域支援事業交付金846万1432円、包括的支援事業・任意事業に係る地域支援事業交付金902万5451円を合わせまして、6 億5438万6883円が収入済額となっております。

8 款繰入金につきましては、収入済額 8 億518万7944円で、内訳といたしましては、一般会計から、介護給付費分 5 億5738万3000円、介護予防事業に係る地域支援事業分981万8000円、包括的支援事業・任意事業に係る地域支援事業分1102万6000円及び運営費分 1 億4074万6000円、保険給付費充当分といたしまして、給付費準備基金から6000万円、介護従事者処遇改善臨時特例基金から2621万4944円でございます。

9 款繰越金につきましては、収入済額 1 億2544万5981円で、前年度からの繰越金でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款総務費につきましては、支出済額 1 億6715万431円で、主なものといたしましては、1 項 1 目一般管理費の一般職人件費が 1 億1685万 4 円、介護保険電算システム事業が1932万8968円でございます。

3 項 1 目介護認定審査会費につきましては、長生郡市広域市町村圏組合介護認定審査会負担金1275万1000円でございます。

2 款保険給付費につきましては、支出済額42億9690万2608円で、前年比10.6%、金額で 4 億1272万839円の増加でございます。

保険給付費の主なものといたしましては、1 項 1 目居宅介護サービス給付費が18億1215万2424円、1 項 2 目介護予防サービス給付費が 1 億1645万9807円、1 項 3 目地域密着型介護サービス給付費が 3 億7803万8916円、1 項 4 目施設介護サービス給付費が15億2341万3488円、1 項 7 目居宅介護サービス計画給付費が 2 億671万7758円、3 項 1 目特定入所者介護サービス費が 1 億3601万3970円でございます。

介護保険法の改正により21年度から給付することになりました5項1目高額医療合算介護サービス費は464万415円でございます。

3款地域支援事業費につきましては、支出済額1億1004万8846円でございます。

地域支援事業の主なものとしたしましては、1項1目介護予防事業費のうち、介護予防特定高齢者施策事業が1101万1961円、2項2目任意事業費のうち、地域自立生活支援事業が250万6710円でございます。

4款基金積立金につきましては、支出済額2742万2000円で、今後の保険給付の増加等に対応するため、給付費準備基金の積み立てを行ったものでございます。

以上が、平成21年度茂原市特別会計介護保険事業費歳入歳出決算の概要でございます。よろしく御審議の上、御承認くださいますようお願い申し上げます。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 以上で提案理由の説明を終わります。

————— ☆ ————— ☆ —————

陳情の上程後委員会付託

○議長（常泉健一君） 次に、議事日程第4「陳情の上程後委員会付託」を議題とします。

受付締切の8月27日までに受理いたしました陳情4件を一括上程します。

ただいま上程しました陳情は、お手元に配付の陳情文書表のとおり、所管委員会にその審査を付託します。

————— ☆ ————— ☆ —————

休会の件

○議長（常泉健一君） 次に、議事日程第5「休会の件」を議題とします。

お諮りします。明9月2日から7日までは、議案等調査のため休会としたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（常泉健一君） 御異議ないものと認めます。したがって、そのように決定しました。

以上で本日の議事日程は終了しました。

次の本会議は8日午前10時から開き、一般質問を行います。

本日は以上で散会します。御苦労さまでございました。

午前11時26分 散会

————— ☆ ————— ☆ —————

○本日の会議要綱

1. 会議録署名議員の指名
2. 会期の決定
3. 認定案第1号から第9号並びに議案第1号から第2号までの上程説明
4. 陳情の上程後委員会付託
5. 休会の件

○出席議員

議長 常 泉 健 一 君

副議長 深 山 和 夫 君

1番	飯 尾 暁 君	2番	前 田 正 志 君
3番	矢 部 義 明 君	4番	金 坂 道 人 君
5番	中 山 和 夫 君	6番	山 田 きよし 君
7番	細 谷 菜穂子 君	8番	森 川 雅 之 君
9番	平 ゆき子 君	10番	鈴 木 敏 文 君
11番	ますだ よしお 君	12番	田 丸 たけ子 君
13番	加賀田 隆 志 君	14番	腰 川 日出夫 君
15番	伊 藤 すすむ 君	17番	勝 山 穎 郷 君
18番	初 谷 智津枝 君	19番	三 橋 弘 明 君
20番	関 好 治 君	21番	早 野 公一郎 君
22番	三 枝 義 男 君	24番	市 原 健 二 君
25番	田 辺 正 和 君	26番	金 澤 武 夫 君

☆

☆

○欠 席 議 員

な し

☆

☆

○出席説明員

市 長	田 中 豊 彦 君	副 市 長	長谷川 正 君
教 育 長	古 谷 一 雄 君	総 務 部 長	松 本 文 雄 君
企 画 財 政 部 長	平 野 貞 夫 君	市 民 部 長	中 山 茂 君
福 祉 部 長	古 山 剛 君	経 済 環 境 部 長	前 田 一 郎 君
都 市 建 設 部 長	古 市 賢 一 君	教 育 部 長	國 代 文 美 君
総 務 部 次 長 (総務課長事務取扱)	片 岡 繁 君	企 画 財 政 部 次 長 (市民税課長事務取扱)	今 関 正 男 君
企 画 財 政 部 次 長 (財政課長事務取扱)	麻 生 英 樹 君	市 民 部 次 長 (国保年金課長事務取扱)	森 川 浩 一 君
福 祉 部 次 長 (社会福祉課長事務取扱)	大 野 博 志 君	経 済 環 境 部 次 長 (農政課長事務取扱)	鳩 川 文 夫 君
都 市 建 設 部 次 長 (土木建設課長事務取扱・土木政策担当)	笠 原 保 夫 君	都 市 建 設 部 次 長 (都市政策担当・ 本納駅東地区土地 区画整理担当)	酒 井 達 夫 君
教 育 部 次 長 (教育総務課長事務取扱)	斉 藤 勝 君	職 員 課 長	相 澤 佐 君
企 画 政 策 課 長	岡 本 幸 一 君		

☆

☆

○出席事務局職員

事 務 局 長	金 坂 正 利
主 幹	三 橋 勝 美
局 長 補 佐 (庶務係長事務取扱)	宮 本 浩 一